

考査項目別運用表

別紙-2② (総括監督員等)

考査項目	細 別		
4. 工事特性	I 施工条件等への対応	III 厳しい自然・地盤条件等への対応 <input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 15. 条件明示の有無に係わらず、当初発注時点で予期しえなかった土質条件や地下水が現地を確認される等の理由により、大幅な変更対応が必要となった工事 <input type="checkbox"/> 16. その他 (_____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば4点の加点とする。	(11.について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (12.について) ・積雪・寒冷が特に厳しい地域で、雪氷の除去などへの対応が必要となった工事。 ・河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13.について) ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）。 (14.について) ・イヌワジ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事
	評価	IV 長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 17. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間は除く） ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 <input type="checkbox"/> 18. その他 (_____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば6点の加点とする。 <div style="text-align: center;"> 評点 ____ 点 </div>	(15.について) ・当初設計の考え方や設計条件を再確認して、適切な設計変更「協議」を実施し、施工方法、工程等が評価できる工事 (16.について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事 ・その他、技術的に特殊な現場条件への対応が必要であった工事

※1 工事特性は、最大20点の加点とする。

※2 評価にあたっては主任監督員等の意見も参考に評価する。

考查項目別運用表

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 コンクリートダム工 (コンクリート砂防 えん堤含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> <input type="checkbox"/> (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※【ばらつきの判断は別紙-4参照】					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった <input type="checkbox"/> ため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった <input type="checkbox"/> ため、検査職員が修補指示を行った。																												
「評価対象項目」		<input type="checkbox"/> 基礎処理施工要領書等に示された規定に従い適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 湧水が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取外しに関して管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び継手部が仕様書等に定められたとおり施工されている。 <input type="checkbox"/> スペースを適切に配置し鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち配合試験を行いコンクリートの品質向上に取組んでいる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることがQC版等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した運搬、打設、締固めを行っている。 <input type="checkbox"/> 特殊コンクリートの施工に当たって施工条件を遵守し実施している。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打継部の処理が仕様書等の規定に従い適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設方法(リフト差、リフト高)が確認できる。 特殊な現場条件が特記仕様書に規定されている場合で、その規定に従って適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの現場条件は仕様書の規定に従って適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 埋設計器が設置要領に従って設置されており、正常な作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 周辺地山の法面工は設計図書に基づき適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> その他付帯構造物は設計図書に基づいて適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの仕上がりに分離やブリージングが見られない。 <input type="checkbox"/> 必要な養生を実施していることが確認できる。																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">評価値</td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b'	評価値	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	90%以上	a	a'	b	b'																															
評価値	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
	60%未満	b'	c	c	c																															
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		
		<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックが発生し、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づき処置を行っている。 上記該当があれば・・・ C																																		
		<table border="1"> <tr> <td colspan="5"> ①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </td> </tr> </table>					①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																													
①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																				